

○「話合いの積み重ねで地区が動き出す」

(京都府宮津市 吉津地区連絡会議)(平成31年度第4回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の発生防止・解消

新規参入の 促進

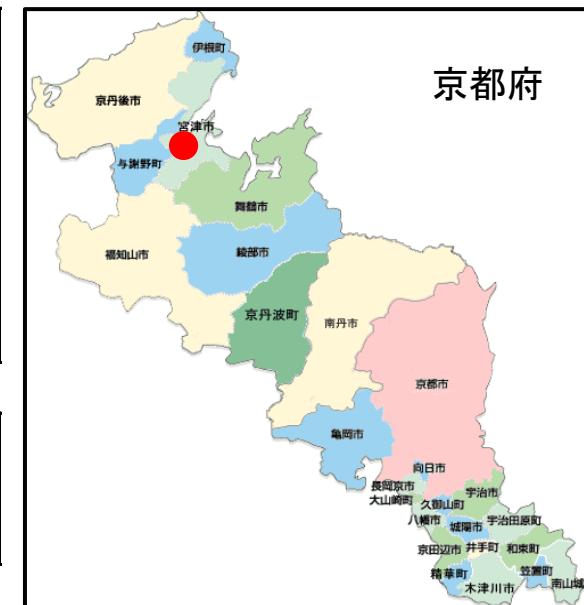
その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- | | |
|-----------|---|
| ○ 日時(時期): | 令和2年2月22日(土) 9:00～12:00 |
| ○ 場 所: | 宮津市吉津集会所 |
| ○ 出 席 者: | 尾関委員、糸井推進委員
農家組合同員8人、市1人、事務局1人
委員2人、委員以外10人 |
| ○ 報 告 者: | 増田 英雄 農業会議現地推進役 |

2 地区の特徴、状況、課題

- 耕地30ha、地区区分は須津西・須津東・文殊(地区により農業・農地に対する考えが違う)
○ 共同作業4ha:高齡のため29年に解散 受託組合(コンバイン、乾燥機):高齡のため3年前に解散
他地区の耕作者1人1ha ※須津農家組合(自治会連携):地主・耕作者105人で構成、水路整備やヘリ防除



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 須津東地域京力農場プラン検討
- ・須津東地区 水田22.6ha、水稲単作地域 農家14戸(うち70歳以上が10戸、営農組織無し)
 - ・アンケートと図面作成は実施済みで、5～10年後の間に6haの規模縮小希望がある
- 意見交換
- ・課題がありながらもやってこなかった。具体的な対策を作成すべき
 - ・新規就農者に対する受け入れ体制の検討が必要
 - ・新規就農者の受入を機に話合いの継続を
 - ・補助金をもらうだけのプランになってはいけない
 - ・効率化に向けた営農組織化と水稲以外の検討
- ※今後も話し合いを継続される スローガン「ふるさと農地の継承と発展」

4 活動結果

- 情報・意見交換 3 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援